

院内感染対策（環境整備巡回）における ATP ふき取り検査の効果的な活用事例 ～ ATP 検査を現場改善に活かす、効果的なフィードバック方法を検討～



医療編

社会医療法人雪の聖母会・聖マリア病院

社会医療法人雪の聖母会・聖マリア病院では、院内の環境整備巡回において ATP ふき取り検査を効果的に活用している（取り組みの概要は第 29 回環境感染学会で発表）。ATP 検査を用いた巡回指導では、人が高頻度で触れる箇所として、ベッド柵、テレビのリモコン、ナースコール、注射作成台、PC マウスの5カ所をピックアップして、院内の各部署で検査を実施。検査結果を院内全体で共有することで、各部署が切磋琢磨しながら、自主的かつアイデアを出し合いながら改善に取り組むようになり、その後の再検査では着実な改善効果が認められた。

同院の本田順一氏（医療の質管理本部長）は「ATP 検査は 10 秒程度で清浄度（汚染度）が数値化される。その場で検査結果のフィードバックができるという特徴があるので、高い衛生意識を維持するツールとして非常に大きな効果を発揮している」と語る。本稿では、ATP 検査の活用が感染対策の顕著な向上につながった経緯などを紹介している。